



東京 CPB 第 20 回通常総会開催(6 月 17 日)報告 ～2025 年の東京 CPB 解散が承認されました。～

6 月 17 日に第 20 回東京 CPB 通常総会を開催しました。

司会の小西美香理事が、会員 592 名のうち出席 19 名、委任状 173 名、書面議決票 81 名で定数を満たし、総会が成立したことを宣言。つぎに加瀬和美副理事長が議長として選出されました。

第 1 号議案 2022 年度事業活動報告および第 2 号議案 2022 年度決算報告および剰余金処分の承認について、田中のり子副理事長が提案しました。

融資案件が年々減少傾向にあることから、理事会では 2020 年度から東京 CPB の今後について検討してきました。生活クラブ運動グループにアンケート調査を行った結果、残念ながら今後融資依頼は見込めないと知りました。また東京 CPB 設立の 2003 年当時に比べ、日本政策金融公庫の NPO 融資など民事業の資金調達の見込みが増えてきていることも鑑み、東京 CPB はすでに役割を果たした、というのが理事会の出した結論であると説明し、現在の融資先がすべて完済する 2025 年を持って解散する方向で準備を進めたい、と提案しました。

会員から「生活クラブ組合員へ東京 CPB の活動アピールはどのようにしたか」と質問がありましたが、植田理事長はブロック理事会との調整のうえ各地で行ったと回答しました。

採決の結果、第 1 号議案、第 2 号議案は承認されました。

第 3 号議案 2023 年度事業活動計画および第 4 号議案 2023 年度予算について、植田泉理事長が以下のように提案しました。

「生活クラブ運動グループによる 21 世紀型地域機能づくり構想」から生まれた東京 CPB は、20 年にわたり市民のお金で民事業を活性化することに貢献し、114 件の融資と 2 件の社会的投資、合わせて 6 億 458 万 8 千円の投融資を行ってきました。2003 年当時一般金融機関が NPO を投融資対象とすることはありませんでしたが、社会は変化しました。

第 1 号議案で、現在の融資先がすべて完済となる 2025 年 5 月をもって解散することが承認されました。今後、東京 CPB は貸金業を廃業し、回収のみを行う「みなし貸金業者」になります。また社会的投資先と相談のうえ、出資金の引き上げを行います。

東京 CPB はこの 20 年間、会員のサポート会費（ご寄付）やボランティア活動で運営してきましたので、経営は黒字です。会員のみなさんの出資金は 100%返還できる見通しです。

2023 年度は①精算手続き完了までの予算とスケジュール、②残余財産の見込み額と帰属先（寄付先）③会員への出資金返還スケジュール、④活動の成果をまとめた記念誌作成、などについて検討したいと思います。サポート会費は 2022 年度を持って終了します。今までありがとうございました。

以上の提案に対して、会員からは多くの意見がありました。

（裏ページに続く）



●東京 CPB が出来たとき、環境や食の市民グループ立ち上げを後押しする仕組みが、生活クラブにできたと思った。これを加入拡大のきっかけにできると思い、グループづくりを呼びかけても来た。20 年間ご苦勞様でした。広報が十分でなかったのではないかと思います。

●出資金がこのまま戻されてしまうのはせつない。どこか役に立てるなら生かしてほしいと思う。東京 CPB の設立趣意書を改めて読むと、東京 CPB の役割が終わったとはとても思えない。福島で暮らしていると、よくわからないお金がどんどん降って来たり使われたりしている。志のお金の大切さを伝えたい。

●この 20 年間の活動をぜひ残してほしい。東京 CPB の活動だけでなく、東京 CPB は先駆者だったのだ、社会が追い付いてきたのだ、ということがわかるように社会の流れと対比して年表にしてほしい。

採決の結果、第 3 号議案、第 4 号議案は承認されました。

第 5 号議案役員選出について、植田泉理事長より提案がありました。

採決の結果、第 5 号議案は承認されました。

以上すべての議案が承認され、第 20 回東京 CPB 通常総会は終了しました。

今回は、会員のみなさまから委任状や書面議決票に多くの意見が寄せられましたので、以下に一部紹介します。

●この度の苦渋の決断は本当に残念です。単純な融資でなく、融資前後も依頼者の事業（活動）に寄り添い、支援する CPB の活動は、まさにまちづくりであったと思います。専門的な部分の多い事業なだけに、ご苦勞も多かったことと思います。本当におつかれさまでした。

●20 年間、ありがとうございました。

●執行部の役員の皆様のご決断に敬意を表します。

●21 世紀型地域機能づくり構想の実現に夢をはせ、実際、地域にさまざまな機能をつくりだしてきました。CPB はその中でも大きな役割を果たしてきたと思います。拠点の設立時に融資頂きました。あの時のあのお金のおかげで、今の私たちがあります。お疲れ様でした。

●私は東京 CPB の設立に関わりましたので、解散はとても残念です。ただ理事会での 2 年間の議論の結果の方針であり、異議を唱えるものではありません。

一つ提案があります。私も含めてお預けしている出資金ですが返還するのではなく、意義ある事業体に継承していただくように検討していただけないかと思います。東京 CPB への出資は、少しでも社会のためになるならと組合員・市民が拠出した意志あるお金なので、なんとかその意志がどこかに引き継がれたらと思う次第です。どうか検討をお願いします。

●20 年の歴史をとじる決断…賛同はしたいと思いますが、CPB の意志を皆で受け継いでいきたいですね。全国の金融機関に CPB を知ってほしい！理事の皆様改めて敬意と感謝を。

●長い間のご活動の勞を称えます。時代の役割を十分に担っていただいたと感謝いたします。

総会での議論、また書面での様々なご意見ありがとうございました。

お金に意志を持たせる、という壮大な実験をしてきた私たちです。

2025 年の解散まであまり時間はありませんが、いただいたご意見をどのように生かしていけるか、東京 CPB の実践を運動グループにどう還元できるか、これから理事会で話し合っていきたいと思っています。